



# 牛尾校区コミュニティ協議会

～自立した活動を創意工夫しながら展開～

## 【団体・活動の概要】

伊佐市の牛尾小学校区を単位として設立された校区コミュニティ協議会です。伊佐市の北東部に位置し、西南の役の古戦場「高熊山」、西部には国指定重要文化財「郡山八幡神社」があります。高齢化などによる地域の衰退を危惧し、様々な集まりや体験活動を通して地域を活性化し、牛尾校区に住んで良かった、と思えるような、住民が自慢できる「何か」をつくりたいと、スローガンとして「自分たちの校区は、自分たちの力で住みよい校区にしよう」を掲げ、様々な活動を展開しています。

## 【活動の内容】

- ① 青少年育成事業のふるさと学寮では、親のありがたさ、地域の方々とのつながりを実感。
- ② 地域防犯事業の牛尾っこ見守り隊は、児童への声かけ事業をきっかけに校区老連の協力で発足。子供の防犯、高齢者のウォーキングを兼ねています。
- ③ 介護予防事業については、毎週水曜日を幸齢者の日とし、温泉利用者を含め、生涯学習講座や脳トレ教室等を行っています。
- ④ 地域づくり事業では、校区キャラクター「うしおぼう」で様々なPRを行ってきました。また、運営管理する大口温泉高熊荘の空き地を利用し、ツーリングライダー専用野営場を開設しました。



平成27年10月10日午後(土曜授業開始日)、青少年体験活動の一環で「昔のお菓子づくり(ふくれ菓子等)」を開催しました



平成27年12月9日、たかくま幸齢者大学にて、「いけばな教室(クリスマス、お正月用)」を開催しました



平成27年4月8日(新年度はじめ)、牛尾小学校庭にて、青パト隊、牛尾っこ見守り隊の出発式の様子



平成27年8月15日(お盆の帰省客にあわせ、例年8月第2土曜日)、牛尾小学校庭にて、夏祭りの様子